

～もう少し「ロタウイルス」や「ロタウイルスワクチン」について知りたい方へ～



教えて！
ロタウイルスや
ロタウイルスワクチンのこと



Q1 「ロタウイルス」ってどんなウイルスですか？

A1 ロタウイルスは、冬から春にかけて乳幼児を中心とした感染性胃腸炎の原因ウイルスで、1973年に発見されました。ウイルス粒子が「車輪」の形に似ていることから、ラテン語で車輪の意味を持つ「ロタ」をつけて、「ロタウイルス」と名づけられました。ロタウイルスは環境中でも安定しており、器物の表面で1～10日間にわたり感染力を保持すると言われています。また、感染力がとても強く、衛生水準の高い先進国でも予防は非常に難しいです。

Q2 日本では、ロタウイルス胃腸炎の患者は1年間でどれくらいいますか？

A2 ロタウイルス胃腸炎の患者は年間約80万人です。ロタウイルス胃腸炎は他のウイルス性胃腸炎に比べ、重度の脱水症状になることが多く、年間7～8万人は入院したと推計されています。さらに、脳炎・脳症やけいれんなどの合併症を引き起こし、死亡あるいは後遺症を残すことがあり、ロタウイルス胃腸炎で毎年2～18名の死亡例が報告されています（平成12年～24年厚生労働省人口動態統計）。

Q3 ロタウイルスワクチンがあるときいたのですが、どんなワクチンですか？

A3 日本では、ロタリックス®とロタテック®という経口生ワクチン（ロタウイルスの毒性を弱くした、口から飲むことのできるワクチン）があります。いずれも甘い味がついているため、乳児でも飲みやすくなっています。両ワクチンの効果に差はほとんどなく、ともにロタウイルス胃腸炎を約80%予防し、重症のロタウイルス胃腸炎に限ると、その予防効果は約95%と言われています。

令和2年10月1日より、ロタウイルスワクチンは定期予防接種（費用は無料）になりました。接種できる期間が限られているため、接種を希望される場合は、医療機関に早めに相談しましょう。



Q4 ロタウイルスワクチンの副作用はありますか？

A4 数万例に1回程度、ワクチン接種後（特に1回目接種後の1週間以内）に「腸重積（ちょうじゅうせき）」を発症する可能性がわずかに高くなると報告されています。「腸重積」とは、

腸の一部が同じ腸の中にもぐりこんでしまう病気で、激しい痛みと血便が特徴です。「腸重積」以外には、おう吐や下痢などの症状が見られることがありますが、いずれも軽症です。



★お問合せ先★

○保健福祉局 衛生環境研究所 管理課 疫学情報担当
(TEL:075-606-2674 FAX:075-606-2671)

(令和3年3月編集)